西東京市市民協働推進センター

平成29年度第4回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成29年7月18日(火)午後7時00分～8時00分
■開催場所：イングビル3階第1、2会議室
■出席委員：池田委員、石井委員、海老澤委員、熊谷委員、古林委員、紺野委員、櫻井委員、佐藤(文)委員、鈴木委員、田中委員、谷委員＜以上11名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、鈴木副センター長、池田事務局長、小平福祉活動推進課長、妻屋地域福祉推進課長補佐兼係長、山田主任

1.報　告　事　項

1.業務報告について

事務局より、6月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委員長：アクセストップ10では「ゆめこらぼへようこそ」と「ゆめこらぼとは」ではページが違うのか。

事務局：トップページが「ゆめこらぼへようこそ」で、「ゆめこらぼとは」はゆめこらぼの概要を説明しているページである。

2. 6月以降の事業について

事務局より、7月以降の実施事業について説明があった。

委　員：7月19日の南部地域協力ネットワークの実施内容は通常の定例会の開催で会の進め方について話し合う予定だ。

事務局：訂正しておく。

委　員：柳沢小学校の避難所運営ゲームは人間HUGだったのか。

事務局：人間HUGではない。ゆめこらぼは関与していない。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について

委員長：質問、意見が特にないのであれば、前回の会議録は確定稿とする。

2. 会議録について

委員長：最終的に出席委員11名の意見は聞いたが、改めて伝えておきたいことはないか。

事務局：欠席者2名も含め、会議録での委員名の記載についての意見を集計した結果、記名が9名、無記名が3名、どちらでもよいが1名で13名中9名が無記名という意見であった。

委員長：今年度に関しては現状のまま無記名の会議録に決定する。

3. 協　議　事　項

1. センターの業務の執行に関する事項（重要事業の企画）について

事務局より、NPO市民フェスティバル開催までの流れ、開催概要（案）について説明があった。

委　員：市報掲載は1月15日号か。
事務局：1月1日号を考えているが、予備として1月15日号も想定している。
委員長：実行委員のメンバーの内訳は。
事務局：団体が6名でおとぱ関係者が約10名だ。
委　員：運営委員も関わった方がよいのか。日程は空けておいた方が良いか。
事務局：ぜひお願いしたい。
委　員：個人的にはアスタでよいのだが、NPO市民フェスティバルの開催が田無に偏っているので保谷地域で開催することも考慮してはどうか。
事務局：保谷地域でのプレゼンスがあまりないので9月16日の保谷駅前フェスタに展示参加することを考えている。
委員長：今まで保谷での開催についての議論はあったのか。
事務局：運営委員会ではなかったが、実行委員会では意見が出たことはあった。その時はきらっとからアスタに移ることが課題であったため、アスタで定着してから他の場所も考えていきたい。
委　員：下保谷地域では田無へ出るのに線路を2つ超えないとならないとよく聞く。
委　員：保谷エリアでは開催場所が限られるとは思う。ひばりが丘のパルコの中に展示スペースがあるので調べてはどうか。保谷庁舎も考えられるのではないか。
委　員：地理的には難しい。自分も交通機関を利用して保谷庁舎へ行くには1時間ほどかかる。新宿へ出る方が近い。バスの連絡が悪く、下保谷地域も田無へ移動するのは同じように感じているのではないか。
事務局：今年度での保谷地域での実施は難しいが、実行委員会へは意見を伝える。
委員長：こそだてフェスタでも同じような議論は出る。開催場所により参加しにくいとの声は上がる。開催場所を毎年変更して市内を回ってはどうかいう議論になるが、毎回開催場所を決めることは難しいと思う。

2.NPOを支援する事業・企画について（フリーディスカッション）
事務局よりNPOを支援する事業・企画の現状と進め方について説明があった。
委員長：取りまとめにあたり、文言など正確に伝わっているかなどの点で捕捉や意見はないか。
委　員：備品に関してだが、HPで予約状況はすぐわかるが、備品一式が記載されている場所はあるのか。
事務局：トップページの下部にある。
委　員：予約状況のそばにページを置いた方が分かりやすいのではないか。
委　員：特に多かった意見は何か。重なっている意見はあるか。
事務局：特に多いとか、重なっている意見はほとんどなかった。チラシの置き場所とかイベントの開催場所の提案など同じようなものは大まかに同じ分類に分けている。
委員長：各委員から出た意見を吸い上げられればよいのか。
事務局：市報に常設コーナーを設けるなど難しい意見もあるので、意見の多数を占めるものを中心に精査し、企画や事業にしていけるようにまとめていきたい。
委員長：夜間利用については、促進論・慎重論と相反する意見が出ているがどうするのか。
事務局：それは議論いただいて、その結果に従う。

委員長：他に相反する意見はあるか。
事務局：特にない。
委　員：市報にコーナーを設けるのはそんなに難しいのか。
事務局：単発の記事であれば可能性はあるが、常設でコーナーを設けるのは難しい。
委　員：「団体登録受付時の記入項目に対応の記載欄を設ける」という意味は、登録時に限らず、登録団体も含め全ての団体が「見学」「体験」などについての意志表示をして欲しいという意味だ。
委員長：自分の意見に補足して欲しいことなど他にないか。
委　員：次年度の進め方だが、ベクトルを田無地域での充実を図るのか、浸透していない保谷地域に力をいれるのか、来年度の方針を聞きたい。
委員長：ゆめこらぼとしての意見はあるか。
事務局：開設から 9 年経ち、ある程度田無地域での認知度はあがって来たと思うが、保谷地域での認知度はまだ低いため、来年度は保谷地域に力を入れてはどうかと考えている。運営委員の意見をお聞きしたい。
副委員長：認知度は何を示しているのか。保谷地域での登録団体数なのか、相談件数なのかいろいろあるが。
事務局：まずは保谷地域での登録団体数と考えている。
委　員：来年度の課題に対して提案したが、来年度の課題の重点を何にするか決める必要があるのではないか。今後考えていくうえで、目的、目標が共有できるとよいのでないか。
委員長：本日の意見交換を踏まえ、9 月の運営委員会では、重点目標、事業のすすめ方など協議できるようにする。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：9 月 19 日（火）19 時～21 時
会場：イングビル 3 階　第 1, 2 会議室